

降下ばいじん規制値についての請願書

紹介議員

わしの 恵子

(内容)

下奥 奈歩

別紙参照

(理由)

別紙参照

2019年2月25日

愛知県議会議長

松川 浩明 様

きれいな空気の中で暮らせる環境を願う連絡会

住所 東海市富木島町道才 77-7 番地

代表者氏名 平田 哲彦



TEL

090-3933-7564

請 願 書

愛知県議会議長
松川 浩明 様

2019年2月25日
きれいな空気の中で暮らせる環境を願う連絡会
代表 平田 哲彦

私たち、東海市の南部、知多市の北部の住人は長い間、降下ばいじん被害に苦しんできました。年間どの月をとっても降下ばいじん量の測定値は県内で群を抜いて高い数値を示し続けています。例をあげますと養父児童館での測定値は平成29年11月は10.7 t/km³、12月は6.2 t/km³、平成30年1月は8.0 t/km³です。

このような降下ばいじんが多量に降る下で暮らす生活を想像できますか。

布団を干せば、油を含んだ黒い大粒の降下ばいじんが点々と付き、叩いても落ちない、洗濯物も同じです。夏、網戸にしようものなら、床はザラザラ足の裏は真黒。ベランダには灰色の堆積物がたまり、樋に詰まり破損させます。農作物にも被害を及ぼしています。カリフラワーは作らなくなりましたし、葉物も葉に点々とキズが付き、商品としての価値が下がると生産者からも声があがっています。北西の風が強くなる秋から冬にかけて降下ばいじん量が増え、子どもたちの健康に対する影響が心配されます。

このような現状が、長く放置されてきた原因は10 μmより大きい降下ばいじんは公害物質に含まれないとされ、規制値が決められていないからではないでしょうか。

継続的な健康調査が行われていないので、人体への影響がないと断言できないのではないのでしょうか。

降下ばいじん被害は住民にとって非常に深刻な問題です。2016年7月5日CBC「イッポウ」でも取り上げられました。

愛知県、東海市、鉄鋼関連企業が年2回「東海市降下ばいじん対策検討会議」を開催していると聞いています。

降下ばいじんに苦しむのは東海市民ばかりでなく、知多市民もその酷さに怒っています。東海市だけの責任でもないと思います。愛知県にも大きな責任があります。県下にこのような所があるならば、対策をとるべきです。

一日も早く、降下ばいじん規制値を設けてください。これが私たちの願いです。

記

1. 降下ばいじん規制値を設けてください。
2. 降下ばいじん規制値をどの測定地点でも愛知県年平均値2.08 t/km³・月(平成27年度)以下にしてください。

以上